

めざす生徒像

- ◎ 自分のよさや可能性を認識し、希望を持つ生徒
  - ・将来の夢や目標を持っている
  - ・自分には、良いところがあると思うことができる
  - ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦しようとする
- ◎ 自分で考え、判断し、行動できる自主性のある生徒
  - ・見通しを持って、計画的に行動できる
  - ・自分で決めたことは、あきらめずにやり遂げるようとする
- ◎ あらゆる他者を、価値ある存在として尊重できる生徒
  - ・友達が困っている時は、進んで助けることができる
  - ・差別は許さない。支えてもらっている人に感謝できる
- ◎ 多様な人々と協働しながら、より良い社会を創る生徒
  - ・様々な意見を合意しながら、他者と協働することができる
  - ・他者の意見を尊重しながら、建設的に主張することができる

めざす生徒像に向かう 教育活動

- 人生を切り拓くことのできる能力の育成
 

探究的な学習や協同的な学習を、ICT機器やツールも活用し充実言語活動を通して、自ら考え、行動し、相手に伝える能力を育成
- 「自己肯定感」「自己有用感」をプラスに
 

“尾上っ子”気質を生かし、「自己肯定感」「自己有用感」を伸ばす機会を様々な活動で展開。自己決定を促し、進路実現を支援する
- 「兵庫型新学習システム」による個別対応の充実
 

1年生の数学・3年生の英語で、1クラスを2グループ（少人数）に分け、手厚く指導する
- 自分の生き方を考える道德教育の推進
 

答えが1つではない道德的な課題を一人一人が自分事として捉え、向き合う「考え、議論する道德」への質的転換を図る
- 生徒会等の生徒主体の活動を充実
 

学年行事、体育大会、文化発表会に生徒を中心に展開し、自主性を伸ばす。生徒主体の「いじめをしない・させない・許さない」集団づくり
- 教育相談週間、アセスの実施
 

学校カウンセリングを全ての生徒に実施し、生徒の人間形成に関わる諸問題に対して援助していく。アセスの年2回実施
- インクルーシブ教育の推進
 

特別支援学級での授業に通常学級との交流学習を多く取り入れ、誰もが一緒に学ぶ環境の中で、すべての生徒を育成する
- 校内サポートルーム『ステップルーム』等の運営による支援
 

教室以外の居場所として『ステップルーム』の有効活用。生徒の気持ちを尊重し、メンタルサポーターが寄り添い、支援する
- あいさつ、清掃活動、時間管理の徹底
 

「何でも一生懸命」「自分に厳しく他人に優しく」精神を生かす

校訓	以屈為伸（屈を以て伸と為す）
----	----------------

これからの時代にあって、様々な変化に積極的に向き合うため、準備し、挑戦し、誰もが伸びていこうとする伝統の精神

学校教育目標

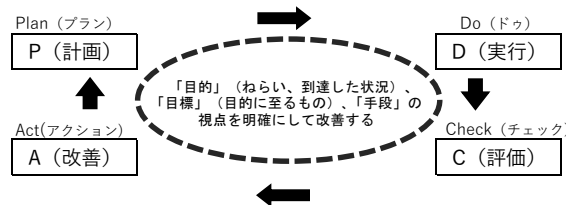
自律(J) 創造(S) 尊重(S) 挑戦(T)

目標の共有イメージ (J S S T)	自律	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自ら学び、自ら考え、自ら判断し、自ら行動する</li> <li>■ スケジュール管理ができ、自分を律することができる</li> </ul>
	創造	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 豊かな発想を持ち、創意工夫し、実現する</li> <li>◆ 知力、生活力、向上心の源泉たる創造力を伸ばす</li> </ul>
	尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 違いを理解し、他者の考えを大切に受け止める</li> <li>■ 誰もが、強制・恐怖・差別にさらされない環境を保障</li> </ul>
	挑戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 何度もチャレンジすることが自己を伸ばし、切り拓く</li> <li>◆ 失敗を恐れず、あきらめない精神が時代に立ち向かう</li> </ul>

コミュニケーション・スクール・ティ

- 尾上町の歴史・文化を理解し、郷土を支える人材を育て
- 「尾上はひとつ」各校の教育目標と価値観を共有する
- 「尾上町ビジョン」を大切に。地域で活動する
- 地域の方や保護者の学校運営への参画をうながす
- 尾上小、浜の宮小、若宮小と連携し、企画を創出する

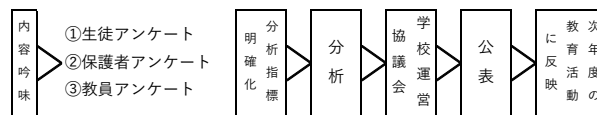
PDCAサイクルによる改善の連続



学校安全と危機管理

学校安全	安全教育	◎潜在的なリスクの認知と早期対応 ⇒生徒自ら回避する力の育成
	安全管理	⇒ハインリッヒの法則 = 1 : 29 : 300
常に危機管理意識を持つ	組織活動	※校内の協力体制、家庭・地域との連携

学校評価(教育水準の向上に向けて)



◎指標ごとに数値による分析を行い、本校の実態を客観的に捉え、改善につなげる

めざす教師像

- ◎ 生徒の主体性を伸ばすため、創造的な発想ができる
- ◎ 多面的な生徒理解に努め、生徒と信頼関係を築くことができる
- ◎ 目標を把握し、見通しを持って計画的な指導ができる
- ◎ 相互利益をめざした良好なコミュニケーションができる
- ◎ 自分の感情をコントロールし、伝えることができる
- ◎ 自己が陥りがちな思い込みの傾向をメタ認知できる
- ◎ 多様な考え方やスキルを持つ方と協働し、成果を出せる

質の高い教育に向かう 組織運営

教職員一人一人のスキルアップ

- 全教職員の目的思考による協働（何を目的とするのか）
- 積極的なOJTの推進
- インクルーシブ教育基盤の学級運営（合理的配慮）
- 生徒の自律を促す指導技術の向上
- プレゼンテーション能力の向上（ICT活用技能の向上）
- 様々な思考ツールの活用、板書構成スキルの向上
- ケース会議等での進行と方策実践能力の向上
- 教育相談スキル、カウンセリングマインドの向上
- アセスの分析及び見立てスキルの向上

組織的な学校運営

- 整理・整頓・安全環境の徹底
- 組織的な対応（報告・連絡・相談）
- 校務支援ソフトの有効活用
- 会議の精選と効率化、分掌の検討
- ケース会議の効果的な活用
- 欠席生徒の共通把握と対応
- 全教職員による安全点検、環境整備・修繕等
- 『いじめ防止対策計画』に基づく対策プログラムの実施
- 行事、学年経営のPDCAサイクルによる年度ごとの改善
- ホームページの組織的な運営による効果的な情報発信
- 大型提示装置やクロームブックの有効な活用
- 新型コロナウイルス感染症予防への組織的な対応

業務改善への取組

- ①合意形成による事業の目的化を図り、効果的に実施する。
- ②会議の目的とゴールの明確化
- ③報告事務等の効率化

- SNS等による不適切な対応、生徒との個人的な対応禁止
- 金品の適切な管理 □ 部活動の適切な運営、情報公開
- 教育情報セキュリティの遵守 □ 法令の遵守（体罰、暴言、不適切な発言、セクハラ、交通事故、学校内禁煙等）
- 職務専念義務の遵守 □ 接遇能力の向上（服装、身だしなみ、電話対応、来客・地域の方への対応、家庭訪問対応）